

世界史

解答は解答用紙の指定された場所に記入すること。

I 次の文章は、オランダの歴史について述べたものである。これを読んで、下の問いに答えなさい。

15世紀半ば以降、西ヨーロッパの国々は大西洋を通じて海外に進出すると同時に、ヨーロッパの中でも勢力を広げようとしていた。その一例がイタリア戦争である。この戦争は、(A) の長男であったスペイン王フェリペ2世、フランス王アンリ2世、イギリス国王でイギリス国教会を確立した (B) との間で結ばれた講和条約により終結した。

イタリア戦争終結に尽力したフェリペ2世は、自領において強硬なカトリック化政策を展開した。スペイン領ネーデルラントでは、この信仰の強制に対する反発に、従来の自治特権を奪われた在地貴族の反抗が加わり、16世紀後半に大規模な反乱が発生した。ネーデルラント南部10州は、途中でこの反乱から離脱したが、北部の7州は (C) の指導のもと、スペインに敵対する諸国の援助を受けて抵抗を続け、1581年にネーデルラント連邦共和国の独立を宣言した。戦争は長期化した。スペインの財政難の影響もあって1609年に休戦に至り、北部7州の独立は事実上認められた。

独立後のネーデルラント連邦共和国は、首都の (A) を中心に、造船・貿易・金融などの分野でヨーロッパをリードした。経済的繁栄により都市化が進み、貴族や教会だけでなく、都市の市民も文化の保護者となった。たとえば近代油絵画法を完成し『夜警』が代表作である画家の (D) は、有力な市民からも依頼を受けて絵画を制作した。また、宗教・思想に寛容な雰囲気広がり、学問や出版においてもヨーロッパの中心となった。自然法を国家間の関係に適用させ「国際法の祖」と呼ばれた法学者の (E) もここで生まれている。政治的には、7州それぞれの議会が主権をもつ連邦共和国であったが、最大州のホラント州の動向が国政を大きく左右していた。日本では、このホラント州の名に由来する「オランダ」という国名が広く使用されている。

オランダ商人は、早くからアジアにも進出していた。1602年には、東インド会

社をつくり、ジャワ島に拠点を置いた。香辛料がとれるマルク(モルッカ)諸島や、アジア域内貿易の拠点マラッカにも進出した。1623年に起きた (イ) の結果、マルク諸島からイギリスを駆逐して香辛料貿易を独占した。さらに17世紀中盤にはアフリカ南端にケープ植民地を創設し、インド航路を押さえた。また、ポルトガルにかわって日本の交易相手となり、日本から大量の (ウ) をもたらした。

しかし海洋大国となったオランダは、イギリス・フランスから挑戦を受けることとなった。両国はオランダの自由貿易を妨害する経済政策をとり、関係の悪化から戦争に至ることもあった。イギリスは17世紀後半のイギリス=オランダ(英蘭)戦争で北アメリカ東岸のニューネーデルラント植民地を奪い、その中心都市を (エ) と改称した。フランスは一時オランダの本土の半分を占領した。フランスによる侵略戦争に苦しめられたオランダは、オランダ総督がイギリス国王の娘婿であることを利用してイギリス=オランダ同君連合を築き、フランスに対抗した。同君連合解消後もイギリスとの同盟は継続されたが、この枠組みの中でオランダの海軍力・貿易は制限を受け、国力の衰退につながった。

問1 下線部(1)について、1571年、フェリペ2世、ローマ教皇、ヴェネツィア共和国の連合艦隊が、オスマン帝国海軍を破った戦いを次より選びなさい。

- ① サラミスの海戦
- ② レバントの海戦
- ③ トラファルガーの海戦
- ④ アクティウムの海戦

問2 下線部(2)について、1559年に結ばれ、イタリア戦争を終結させた講和条約を次より選びなさい。

- ① トルデシヤス条約
- ② ウェストファリア条約
- ③ テイルジット条約
- ④ カトーン=カンブレジ条約

問3 下線部(3)について、南部10州の戦線離脱を受け、1579年に北部7州が結束強化を目的に結成した同盟を次より選びなさい。

- ① シュマルカルデン同盟
- ② コリントス(ヘラス)同盟
- ③ ハンザ同盟
- ④ ユトレヒト同盟

問4 (ア)に入る適当な語句を次より選びなさい。

- ① アントウェルペン(アントワープ)
- ② ロッテルダム
- ③ ハーグ
- ④ アムステルダム

問5 下線部(4)について、17世紀初頭、オランダがアジア進出の拠点として商館を建設した、ジャワ島西部の都市を次より選びなさい。

- ① シンガポール
- ② バタヴィア
- ③ マニラ
- ④ マカオ

問6 (イ)に入る適当な語句を次より選びなさい。

- ① 西山の乱
- ② ジャワ戦争
- ③ アンボイナ事件
- ④ カーナティック戦争

問7 (ウ)に入る適当な語句を次より選びなさい。

- ① 鉛
- ② 銀
- ③ 錫
- ④ 鉄

問8 下線部(5)について、ルイ14世の時代、フランスで重商主義政策を推進し、財政を立て直すために活躍した財務総監を次より選びなさい。

- ① リシュリュー
- ② マザラン
- ③ ウォルポール
- ④ コルベール

問9 (エ)に入る適当な都市名を次より選びなさい。

- ① ニューヨーク
- ② フィラデルフィア
- ③ リッチモンド
- ④ ボストン

問10 下線部(6)について、1688～89年、イギリス議会在国王ジェームズ2世を追放し、その娘と娘婿であるオランダ総督を国王に即位させた政変を次より選びなさい。

- ① ビューリタン革命
- ② 名誉革命
- ③ 大憲章(マグナ=カルタ)発布
- ④ ワット=タイラーの乱

問11 (A)～(E)には人名が入る。適当なものを次の中からそれぞれ選びなさい。

- ① カルロス1世
- ② ノルマンディー公ウィリアム
- ③ エリザベス1世
- ④ メアリ1世
- ⑤ ジョアン2世
- ⑥ オラニエ公ウィレム(オレンジ公ウィリアム)
- ⑦ フェルメール
- ⑧ レンブラント
- ⑨ スピノザ
- ⑩ グロテウス

Ⅱ 次の文章は、古代ローマの文化とキリスト教について述べたものである。これを読んで、下の問いに答えなさい。

ローマ人はギリシア文化から学んだ知識を応用し、実用的な文化を創り上げた。建築においては、浴場・凱旋門などが建設され、道路や水道橋も造られた。都市民衆は、政治家が配給する穀物をあてに生活し、提供された見世物に熱狂した。

ローマ文化の中で後世への影響がもっとも大きなものの一つがローマ法である。ローマ法は、当初はローマ市民だけを対象にしていたが、やがて帝国に住むすべての人民に適用される普遍的な万民法に成長した。6世紀に（ア）が法学者を集めて編纂させた『ローマ法大全』がその集大成である。

ラテン文学はアウグストゥス時代が黄金期といわれている。ローマを代表する詩人の一人であるウエルギリウスはアウグストゥスの保護を受けて活動した。歴史記述の分野では（イ）が『ローマ建国史』（『ローマ建国以来の歴史』）を著した。歴史家としては他にも（ウ）の作者であるタキトゥスや、『対比列伝』（『英雄伝』）を著したプルタルコスが有名である。

哲学の分野では、ストア派哲学の影響が強く、セネカやエピクテトスが活躍し、上流階層にも広まった。マルクス=アウレリウス=アントニヌス帝はストア派哲学者としても有名である。

宗教面では、キリスト教が1世紀にローマ支配下のパレスチナで成立した。当時のローマ帝国では、皇帝崇拜儀礼が徐々に強化されていたが、キリスト教徒は皇帝礼拝を拒んだため、反社会集団とみなされるようになり、民衆や国家から迫害された。過酷な迫害にもかかわらず、キリスト教は帝国全土に拡大し続け、帝国の統一を維持するためにコンスタンティヌス帝は313年に（エ）でキリスト教を公認した。325年にコンスタンティヌス帝が開催したニケーア公会議においてはアタナシウス派が正統とされ、アリウス派は異端とされた。また、『神の国』（『神国論』）を著した（オ）のようなキリスト教思想家たちによって正統教義はさらに確立していき、のちの神学の発展につながった。

4世紀終盤にはテオドシウス帝がキリスト教を国教とし、他の宗教を禁止した。それとともに聖職者身分が成立し、教会の組織化が進むこととなった。431年には（カ）公会議でネストリウス派が異端と宣告されたが、ネストリウス派は後に西アジアを経て中国に伝わり、信仰された。

問1 下線部(1)について、剣闘士の試合などの見世物が行われたローマ市にある円形闘技場を次より選びなさい。

- ① バンテオン
- ② コロッセウム
- ③ フォロ=ロマーノ
- ④ カタコンベ

問2 （ア）に入る適当な人名を次より選びなさい。

- ① ヘラクレイオス1世
- ② カラカラ
- ③ ユスティニアヌス1世（大帝）
- ④ ネルウァ

問3 下線部(2)について、ウエルギリウスの著作を次より選びなさい。

- ① 『アエネイス』
- ② 『労働と日々』
- ③ 『オデュッセイア』
- ④ 『神統記』

問4 （イ）に入る適当な人名を次より選びなさい。

- ① リウィウス
- ② ヘロドトス
- ③ トゥキディデス
- ④ ポリビオス

問5 （ウ）に入る適当な作品名を次より選びなさい。

- ① 『国家論』
- ② 『地理誌』
- ③ 『ガリア戦記』
- ④ 『ゲルマニア』

問6 下線部(3)について、マルクス=アウレリウス=アントニヌス帝の著作を次より選びなさい。

- ① 『方法序説』
- ② 『告白録』
- ③ 『自省録』
- ④ 『プリンキピア』

問7 （エ）に入る適当な語句を次より選びなさい。

- ① ナントの王令
- ② ミラノ勅令
- ③ 十月宣言
- ④ 統一法

問1 下線部(1)について、日清戦争の講和条約が締結された場所を次より選びなさい。

- ① 函館 ② 下関 ③ 下田 ④ 台北

問2 (ア)に入る適当地名を次より選びなさい。

- ① 広州湾 ② 青島 ③ 天津 ④ マカオ

問3 下線部(2)について、義和団戦争の説明として誤っているものを次より選びなさい。

- ① 義和団は天津を占領して天京と改称した。
② 「扶清滅洋」をスローガンに、鉄道やキリスト教会を破壊した。
③ 列強8カ国連合軍の主体になったのは日本とロシアである。
④ 清は北京議定書(辛丑和約)を結んで列強と講和した。

問4 下線部(3)について、光緒新政の説明として誤っているものを次より選びなさい。

- ① 科挙を廃止した。
② 憲法大綱を定めた。
③ 国会開設を目指した。
④ 男性普通選挙が実施された。

問5 (イ)に入る適当な人名を次より選びなさい。

- ① 康有為 ② 梁啓超 ③ 袁世凱 ④ 林則徐

問6 下線部(4)について、1902年に官費留学生として日本に留学し、帰国後は中国近代文学の基礎を築いた文学者・思想家となった魯迅の著作を次より選びなさい。

- ① 『罪と罰』 ② 『赤と黒』 ③ 『狂人日記』 ④ 『人形の家』

問7 (ウ)に入る適当な人名を次より選びなさい。

- ① 洪秀全 ② 毛沢東 ③ 曾國藩 ④ 孫文

問8 (エ)に入る適当な語句を次より選びなさい。

- ① 義兵闘争 ② 辛亥革命 ③ 満洲事変 ④ 五・四運動

問9 (オ)に入る適当な国名を次より選びなさい。

- ① 中華民国 ② 中華人民共和国
③ 大韓民国 ④ 満洲国

問10 下線部(5)について、清朝最後の皇帝を次より選びなさい。

- ① 乾隆帝 ② 雍正帝 ③ 宣統帝 ④ 康熙帝